

# 目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[関連製品](#)

[表記法](#)

[基本的な WiSM2 と Catalyst 6500 トポロジ](#)

[初期システム設定](#)

[Sup720 と WiSM2 の通信の設定](#)

[WCS からの WiSM2 の設定](#)

[VSS モードでの Sup720 と WiSM2 の通信の設定](#)

[付録 A：スイッチと WiSM2 に関する基本用語](#)

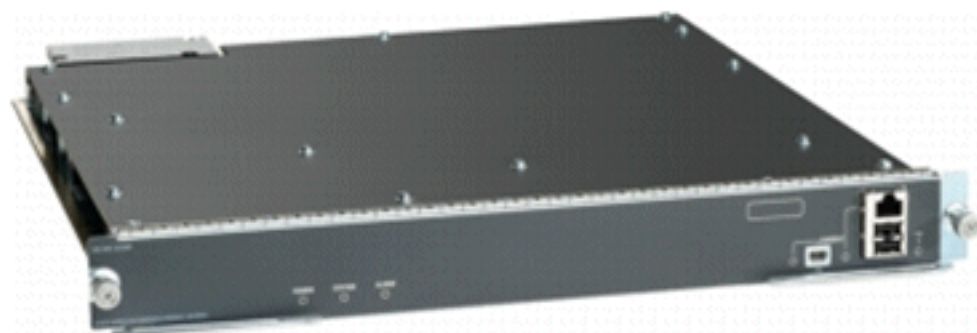
[付録 B：Catalyst 6504 の実行コンフィギュレーションの例](#)

[関連情報](#)

## 概要

Catalyst 6500 シリーズ スイッチ用 Cisco Wireless Services Module 2 ( WiSM2 ) Controller は、拡張性および柔軟性の高いプラットフォームです。このプラットフォームは、中規模から大規模の企業やキャンパス環境における、ミッションクリティカルなワイヤレス向けのシステム全体のサービスの導入を可能にします。WiSM2 コントローラは、802.11n のパフォーマンスと最大限の拡張性を目的として設計されており、既存の 802.11a/g ネットワークの少なくとも 9 倍のスループットを実現し、より高密度のクライアントをサポートして、効率的なローミングを提供します。同時に 1,000 までの[アクセスポイント](#) ( AP ) を管理する機能の WiSM2 コントローラ オフアールによって高められる稼働時間; 安定したストリーミング ビデオとトール品質の音声を提供する優れたパフォーマンス、デイズタリカバリ機能の向上により、要件の厳しい環境においても一貫したモビリティ エクスペリエンスを実現します。

### Cisco Catalyst 6500 シリーズ WiSM2 コントローラ



このコントローラは、Cisco Unified Wireless Network のコンポーネントとして、[Cisco Aironet アクセスポイント](#)、[Cisco Wireless Control System](#) ( WCS )、および [Cisco Mobility Services Engine](#) 間のリアルタイム通信を提供して、セキュリティ ポリシー、ワイヤレス侵入防御システム ( IPS )、受賞歴のある RF 管理、および QoS を一元化します。Cisco CleanAir テクノロジーにより、迅速なトラブルシューティングと解決に必要な RF 干渉に関するリアルタイム情報と履歴情報へのネットワーク間アクセスが提供され、802.11n のパフォーマンスを保護します。このような大規模ワイヤレス ネットワークへの統合アプローチにより、サポート コストを合理化し、

計画および計画外のネットワーク ダウンタイムを短縮することで、総所有コスト ( TCO ) の大幅な削減というメリットを実現できます。

## 機能

以下は、WiSM2 コントローラのその他の機能と特性についてまとめたものです。

注Sup 720 ソフトウェア バージョン 12.2. ( 33 ) SXJ は、WiSM2 コントローラでの操作に必要な最低限のソフトウェアです。

5500 アプライアンス コントローラと同等の機能：

- 他のサービス モジュールと WiSM1 とのインターオペラビリティ
- 1,000 人までの APs/15,000 クライアントをサポートします注WiSM2 の 7.0.116.0 リリースは 500 AP および 10,000 人のクライアントしかサポートしない可能性があります; ただし、7.2.103.0 リリースは 1,000 AP および 15,000 人のクライアントをサポートできます。詳細については[リリース 7.2.103.0 の Ciscoワイヤレス LAN コントローラおよび Lightweight アクセスポイントに関するリリース ノート](#)を参照して下さい。
- 100 AP から最大 500 AP までのライセンス アップグレード
- 10 Gbps のデータ プレーン ( 暗号化/非暗号化/ACL ) スループット
- Sup720、Sup720-10G、Sup-2T、および 6500-E シリーズ シャーシをサポート
- 高速ファン搭載の Non-E シリーズをサポート
- Sup 720 ソフトウェア バージョン 12.2 ( 33 ) SXJ 以上
- 1 つのシャーシで最大 7 ブレードをサポート ( VSS モードで 14 )
- サービス モジュールが存在する場合は 1 つのシャーシで最大 5 ブレードをサポート ( VSS で 10 )
- OEAP をサポート

## 前提条件

### 要件

次の表は、WiSM2 を Catalyst シャーシに導入する場合に必要なコンポーネントのリストです。

デバイス/アプリケーション	SW バージョン
720 Sup 搭載Catalyst 650X*	12.2 ( 33 ) SXJ 以上
イーサネット ライン カード : テスト済み、WiSM2 と互換性	6148、6516、6548、 6704-10Gb、6708- 10Gb、6716-10Gb、6748 および 6724
WiSM2 コントローラ	7.0 MR1 バージョン 7.0.116.0
WCS	7.0 MR1 バージョン 7.0.172.0

\* Cisco WiSM2 をインストールする Catalyst のシャーシには、スーパーバイザ 720 モジュールが必要です。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

## 関連製品

WiSM2は、以下を含むスーパーバイザ 720 ファミリで動作します。

- **FS3 スーパーバイザ 720 ( WS-SUP720 )** か。 またスーパーバイザ 720-3a として参照されて。
- **FS4 スーパーバイザ 720-3B ( WS-SUP720-3B )** か。 これは MPLS および ACL カウンターのようないくつかの新しいハードウェア ベース 機能のためのオリジナル スーパーバイザ 720 追加サポートのアップデートです。
- **FS5 スーパーバイザ 720-3BXL ( WS-SUP720-3BXL )** か。 同じハードウェア 特徴機能をスーパーバイザ 720-3B と提供しましたり、しかしまた 1まで、000,000 の IPV4 ルーティングを保存するための増加されたキャパシティを追加します。
- **FS6 スーパーバイザ 720-3C-10GE およびスーパーバイザ 720-3CXL-10GE** か。 フロントパネルの 2 つの x 10GE アップリンクポートのためのサポート、またバーチャル スイッチ リンク ( VSL ) のためのサポートのようないくつかの新しいハードウェア 特徴のためのサポートを追加します。

注Cisco WiSM2 をインストールする Catalyst のシャーシには、スーパーバイザ 720 モジュールが必要です。 次の表に、Cisco WiSM2 用にサポートされているスロットを示します。 スーパーバイザ スロットへの WiSM2 の装着は推奨されていません。

Slot	6503-E	6504-E	6506-E	6509-V-E	6513-E
1	✓	✓	✓	✓	✓
2	✓	✓	✓	✓	✓
3	✓	✓	✓	✓	✓
4		✓	✓	✓	✓
5-6			✓	✓	✓
7-8				✓	✓
9				✓	✓
10-13					✓

注WiSM2(s) でサポートされますか。 E シリーズシャーシ。

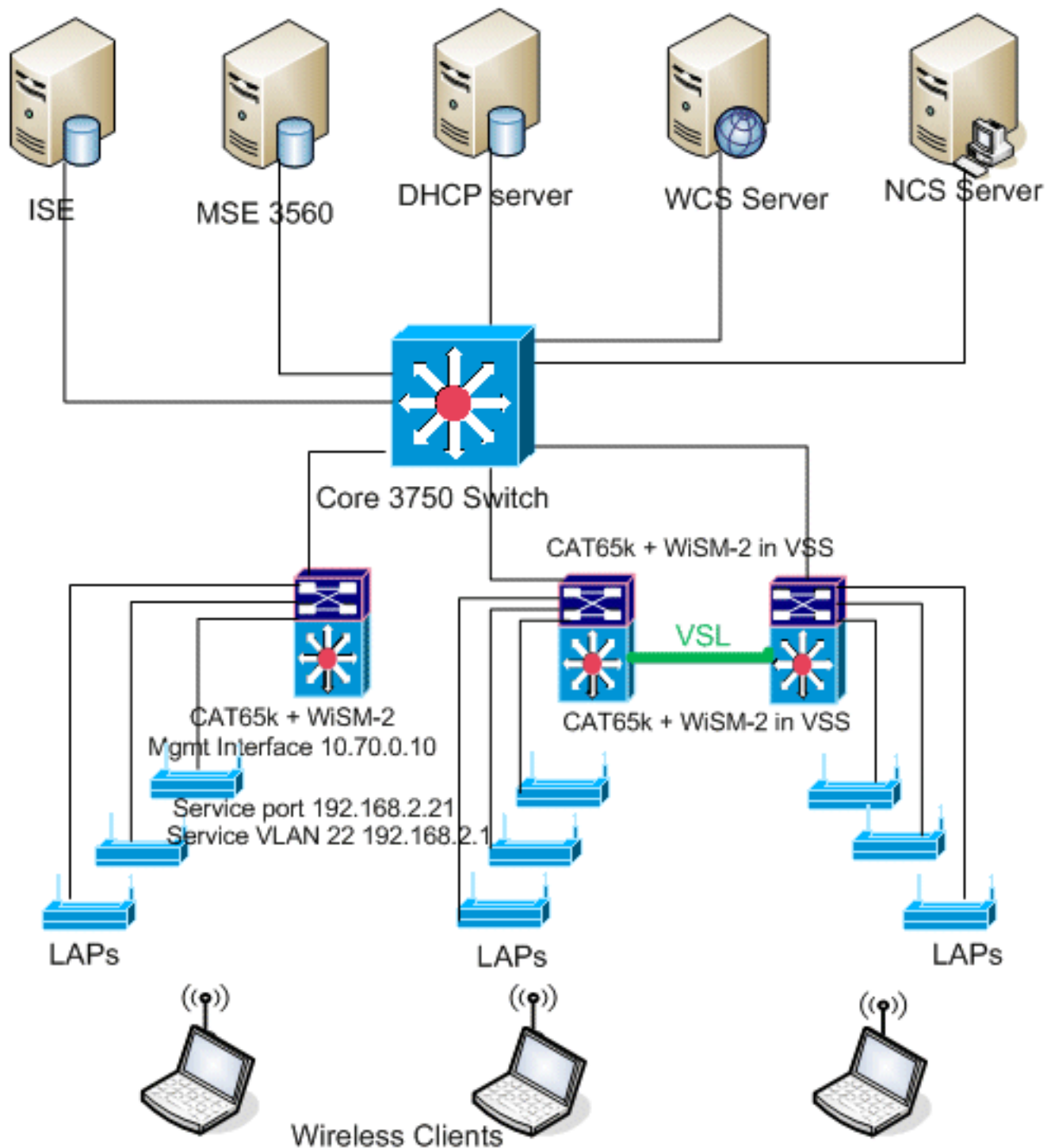
\* スーパーバイザ スロットは WiSM2 スロットとして推奨されていません。

注WiSM2 は、上記の HS ファントレイ搭載の Non-E シリーズでサポートされています。

## 表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

## 基本的な WiSM2 と Catalyst 6500 トポロジ



## 初期システム設定

次の手順を実行します。

1. Cisco.com で提供されている IOS ソフトウェア 12.2 ( 33 ) SXJ で Catalyst 65XX をアップグレードします。Catalyst IOS ソフトウェアをアップグレードしないと、システムは WiSM2 ブレードを認識しません。Catalyst IOS のアップグレードは、TFTP を実行して新しい IOS ソフトウェアをシステムに転送することで実行できますが、イメージをフラッシュカードにコピーすることでも可能です。フラッシュカードのサイズは 256 MB 以上必要です。次に例を示します。

```
CAT6504-MA#dir disk1:Directory of disk1:/      1  -rw-          4713
Jul 12 2010 20:36:44 +00:00  cat6504-ma      2  -rw-          8112  Mar 1 2007 19:18:56 +00:00
running-config      3  -rw-    130796804  Mar 30 2011 14:49:24 +00:00      s72033-
adventerprise_wan-mz.122-33.SXJ.bin512040960 bytes total (381222912 bytes free)
```
2. Cat65XX を再起動するには、**reload** コマンドを Cat650X で実行します。次に、新しいイメージでシステムをリブートし、次の例のように、「ブートイメージ」がシステムまたはフラッシュ ディスクの新しい Catalyst IOS イメージを指していることを確認します。

```
rommon 1
> dir disk1:Initializing ATA monitor library...Directory of disk1:5      130796804 -rw-
s72033-adventerprise_wan-mz.122-33.SXJ.bin35816      4713      -rw-      cat6504-ma4      8112
-rw-      running-configrommon 2 > boot disk1:s72033-adventerprise_wan-mz.122-33.SXJ.bin
```
3. 新しいソフトウェアでリロードした後に、**sh version** コマンドを実行すると、ソフトウェアのバージョン ( Cisco.com に掲載 ) が表示されます。正しいソフトウェアがロードされていることを確認します。

```
CAT6504-MA#sh versionCisco IOS Software, s72033_rp Software
(s72033_rp-ADVENTERPRISE_WAN-M), Version 12.2(33)SXJ, RELEASE SOFTWARE (fc3)Technical
Support: http://www.cisco.com/techsupportCopyright (c) 1986-2011 by Cisco Systems,
Inc.Compiled Thu 17-Mar-11 15:10 by prod_rel_teamROM: System Bootstrap, Version
12.2(17r)S4, RELEASE SOFTWARE (fc1)
```
4. WiSM2 ボードを 65XX- E の空きスロットに挿入し、**sh module** コマンドを Cat65XX で実行します。WiSM2 モジュールがリストに表示されます。

```
CAT6504-MA#sh moduleMod Ports Card
Type Model Serial No.-----
----- 1 2 Supervisor Engine 720 (Active)
WS-SUP720-3BXL SAL1101CWTQ 2 48 SFM-capable 48 port 10/100/1000mb RJ45 WS-X6548-GE-
TX SAL09497FS3 3 4 WiSM 2 WLAN Service Module WS-SVC-WISM2-K9
SAL1421JDERMod MAC addresses Hw Fw Sw Status--
----- 1
0017.9568.72b4 to 0017.9568.72b7 5.3 8.4(2) 12.2(33)SXJ Ok 2 0016.470d.ec04 to
0016.470d.ec33 10.2 7.2(1) 12.2(33)SXJ Ok 3 0011.92ff.ed20 to 0011.92ff.ed2f
0.5 12.2(18r)S1 12.2(33)SXJ OkMod Sub-Module Model
Serial Hw Status-----
----- 1 Policy Feature Card 3 WS-F6K-PFC3BXL SAL1052CK95 1.8 Ok 1
MSFC3 Daughterboard WS-SUP720 SAL1052CK3E 2.6 Ok 2 IEEE Voice
Daughter Card WS-F6K-GE48-AF SAL094978HV 1.2 OkMod Online Diag Status-----
----- 1 Pass 2 Pass 3 PassCAT6504-MA#
```
5. モジュールがリストにない場合は、システムを再度リセットしてください。モジュールがリストに表示された場合は、次の手順に進みます。注次の手順では、Catalyst 65XX スイッチの WiSM2 でソフトウェアをインストール/アップグレードおよび設定します。
6. ソフトウェアはコマンドライン インターフェイスからロードできます。ワイヤレスコントローラの管理インターフェイスがまた設定されていないため、この時点では WebUI による設定はできません。ネットワークで適切に動作するようにコントローラを設定し、動作中のサブネットの IP アドレスを設定してください。ワイヤレスコントローラは、次に示すように、WiSM2 コントローラのコンソール ポートに直接接続するか、Catalyst インターフェイスからコントローラ モジュールへのコンソール セッションを開くことで設定できます。注セッション コマンドから WiSM2 に直接アクセスできるようになりました。

```
CAT6504-
MA#session slot 3 processor 1The default escape character is Ctrl-^, then x.You can also
type 'exit' at the remote prompt to end the sessionTrying 192.168.2.21 ... Open(WiSM-slot3-
1)User: adminPassword:***** (WiSM-slot3-1) >
```
7. WiSM2 コントローラを設定して、**show sysinfo** コマンドを実行すると、次のように管理インターフェイスの IP アドレス ( 10.70.0.10 ) が出力されます。(WiSM-slot3-1) >show

```

sysinfoManufacturer's Name..... Cisco Systems Inc.Product
Name..... Cisco ControllerProduct
Version..... 7.0.114.114Bootloader
Version..... 1.0.7Field Recovery Image
Version..... 1.0.0Firmware Version..... FPGA
1.6, Env 0.0, USB console 2.2Build Type..... DATA +
WPSSystem Name..... Jian1-maSystem
Location..... TME Lab - Mike's RackSystem
Contact..... Mike AdlerSystem
ObjectID..... 1.3.6.1.4.1.9.1.1293IP
Address..... 10.70.0.10Last
Reset..... Watchdog resetSystem Up
Time..... 0 days 0 hrs 11 mins 46 secsSystem Timezone
Location.....Current Boot License Level.....
baseCurrent Boot License Type..... EvaluationNext Boot License
Level..... baseNext Boot License Type.....
EvaluationConfigured Country..... US - United States--More-- or
(q)uitState of 802.11b Network..... EnabledState of 802.11a
Network..... EnabledNumber of WLANs.....
3Number of Active Clients..... 0Burned-in MAC
Address..... 00:11:92:FF:EC:00Maximum number of APs
supported..... 100(WiSM-slot3-1) >

```

8. Catalyst シャーシの WiSM2 コントローラをリセットする必要がある場合は、次のコマンドを使用します。 (Config)# hw module <#> reset コントローラを工場出荷時の状態にリセットする必要がある場合は、WiSM2 コントローラのコンソールポートに接続されている状態で、リセット オプションが画面に表示されたら、<Esc> キーを押します。コントローラメニューで、オプション 4 を選択して、コントローラを工場出荷時の状態にリセットします。Catalyst シャーシの WiSM2 ワイヤレス コントローラの電源をオフまたはオンにするには、次のコマンドを使用します。 (Config)#power enable module <#>

## Sup720 と WiSM2 の通信の設定

Sup 720 を設定するためにこれらのステップを完了して下さい。 WiSM2 通信:

1. Catalyst 65XX-E SUP モジュールは、WiSM2 カードの内部サービスポート インターフェイスを経由して WiSM2 ボードと通信します。 WiSM2 ブレードと適切に通信するように、Catalyst 65XX でインターフェイスと VLAN を適切に設定するには、次の手順を実行します。 WiSM2 カードのサービスポートには、DHCP アドレスまたは静的 IP アドレスを設定してください。注1 ~ 1000 の範囲の VLAN を格納する WiSM トランクがあり、1 ~ 10 のみを使用する場合は、次のコマンドを入力します。 no wism module x controller y allowed-vlan 11-1000注サービスポートの IP アドレスは、コントローラの管理インターフェイスと異なるサブネット上に設定してください、
2. VLAN をスーパーバイザ 720 に作成します。 この VLAN はシャーシにローカルです。この VLAN は Cisco WiSM と Catalyst スーパーバイザ 720 の通信に使用され、スーパーバイザのギガビット インターフェイスと Cisco WiSM のサービスポート経由で通信されます。注すべての VLAN 番号と IP アドレスはサンプルです。 (Config)#power enable module <#>
3. コントローラの設定中に、サービスポートに DHCP アドレスを選択した場合は、スーパーバイザ 720 の Cisco WiSM のサービスポートまたはスタンドアロン DHCP サーバに DHCP スコープを作成します。 (Config)#power enable module <#>
4. サービスポートの VLAN を関連付けます。 (Config)#power enable module <#>
5. Cisco WiSM が DHCP サーバから IP アドレスを受信したことを確認するには、show wism status コマンドを実行します。 (Config)#power enable module <#>CAT6504-MA#sh wism status
 

```

Service Vlan : 22, Service IP Subnet : 192.168.2.1/255.255.254.0      WLAN
ManagementSlot  Controller Service IP      IP      SW Version  Controller Type  Status--

```

```

-----3 1
192.168.2.21 10.70.0.10 7.0.114.114 WS-SVC-WISM-2-K9 Oper-UpCAT6504-MA#Cisco IOS ソフト
ウェア リリース 12.2 ( 33 ) SXI 以降では、手動による LAG 設定はサポートされていません
。システムによって自動ラグが自動的に作成されます。CAT6504-MA#sh wism statusService
Vlan : 22, Service IP Subnet : 192.168.2.1/255.255.254.0 WLAN
ManagementSlot Controller Service IP IP SW Version Controller Type Status--
-----3 1

```

また、DHCP プールを管理 VLAN に個別に作成するか、他の動的インターフェイスを作成します。これらのインターフェイスは、AP 用のワイヤレス コントローラとワイヤレス クライアント上に構成されます。

6. スーパーバイザは、モジュールが検出されるとすぐに、Cisco WiSM2 の独立したコントローラにポート チャネル インターフェイスを自動的に作成します。通常、ポート チャネルの数字は、次の例のように、405 などの大きな数になります。CAT6504-MA#sh wism

```

statusService Vlan : 22, Service IP Subnet : 192.168.2.1/255.255.254.0 WLAN
ManagementSlot Controller Service IP IP SW Version Controller Type Status--
-----3 1
192.168.2.21 10.70.0.10 7.0.114.114 WS-SVC-WISM-2-K9 Oper-UpCAT6504-
MA#GigabitEthernet3/4 unassigned YES unset administratively down downPort-channel3
unassigned YES unset down downPort-channel405 unassigned YES
unset up upVlan1 unassigned YES NVRAM administratively
down downVlan22 192.168.2.1 YES NVRAM up upVLAN70
10.70.0.5 YES NVRAM up upVlan192 192.168.0.1 YES NVRAM
up upCAT6504-MA#

```

7. また、次のコマンドを使用して、Cisco WiSM2 で設定されている VLAN がポート チャネルとギガビット インターフェイス経由で実行されるようにします。VLAN がアクティブになっていることも確認します。GigabitEthernet3/4 unassigned YES unset

```

administratively down downPort-channel3 unassigned YES unset down
downPort-channel405 unassigned YES unset up upVlan1
unassigned YES NVRAM administratively down downVlan22 192.168.2.1
YES NVRAM up upVLAN70 10.70.0.5 YES NVRAM up
upVlan192 192.168.0.1 YES NVRAM up upCAT6504-MA#注次のコマ
ンドを使用して、コントローラを設定します。次に例を示します。GigabitEthernet3/4
unassigned YES unset administratively down downPort-channel3 unassigned
YES unset down downPort-channel405 unassigned YES unset up
upVlan1 unassigned YES NVRAM administratively down downVlan22
192.168.2.1 YES NVRAM up upVLAN70 10.70.0.5 YES NVRAM
up upVlan192 192.168.0.1 YES NVRAM up
upCAT6504-MA#

```

注 Catalyst 6504 の設定例の詳細については、「[付録 B](#)」を参照してください。

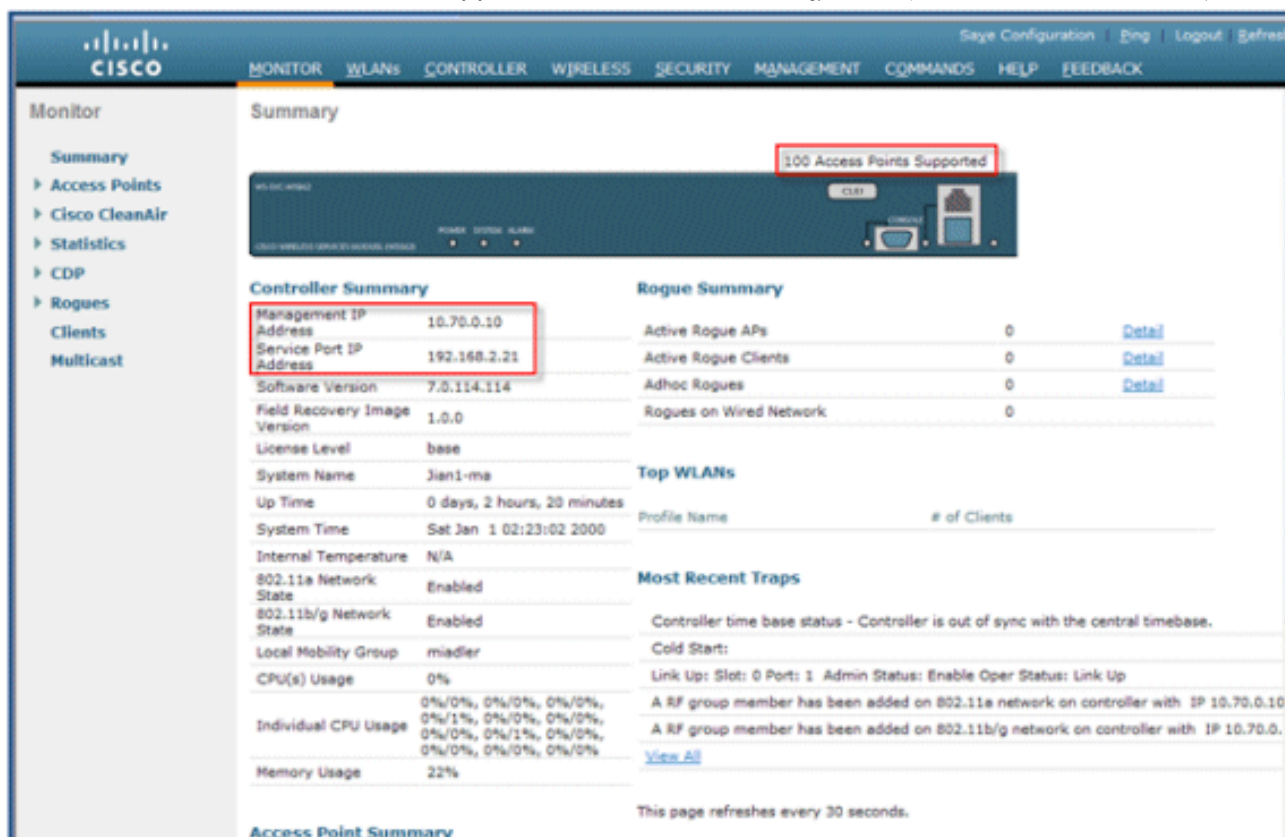
8. Catalyst 6K で無線から有線トラフィックをポリシングするには、VLAN ベースの QoS の新しいコマンド `Cat-6K ( config ) #wism module {#} controller {#} qos vlan-based` VLAN Based QoS を有効にしてください。アップストリーム ( 無線から有線トラフィック ) トラフィックの動的インターフェイス VLAN ( SVI ) の入力フロー ポリサーまたは集約ポリサーを適用するには、次のコマンドを実行する必要があります。2.2 ( 33 ) SXI4 より前のリリースでは、WiSM ラグ ( L2 ) から SVI ( L3 ) に送信されるトラフィックをポリシングできませんでした。適用される QoS ポリシーは VLAN ベースのポリシーで影響がなかったため、ポリシングは実行されませんでした。リリース 12.2 ( 33 ) SXI4 では、新しいコマンドが導入され、WiSM LAG で VLAN ベースの QoS コマンドが可能になりました。このコマンドは、WiSM LAG の L2 switchport コマンドの `mls qos vlan-based` と同等です。これは、12.2 ( 33 ) SXI4 IOS リリースでトラフィックのポリシングを有効するための WiSM-1 LAG CLI コマンドです。スタンドアロン シャーシ モード : `wism module <module_no> controller <controller_no> qos-vlan-based` VSS シャーシ モード : `wism switch <switch_no> module <module_no> controller <controller_no> qos-vlan-based` リリース 12.2 ( 33 ) SXJ では、

WiSM-2 コントローラのサポートが必要で、コマンドが変更されています。スタンドアロン  
 シャーシ モード : `wism module <module_no> controller <controller_no> qos vlan-basedVSS`  
 シャーシ モード : `wism switch <switch_no> module <module_no> controller <controller_no> qos  
 vlan-based` 2 つのコマンドの機能には違いがありません。変更されたのは構文のみです。特  
 に、`qos` の後にハイフン ( - ) がありません。

9. 前の設定コマンドの実行を確認します。 `#show wism module 2 controller 1 statusCAT6504-  
 #show wism module 3 controller 1 status`  
 WiSM Controller 1 in Slot 2 configured with auto-  
 lagOperational Status of the Controller : Oper-UpService VLAN :  
 22Service Port : 3Service Port Mac Address :  
 0007.7d0a.7001Service IP Address : 192.168.2.21Management IP Address  
 : 10.70.0.12Software Version : 7.0.116.0Port Channel Number  
 : 403Allowed-vlan list : 30-100Native VLAN ID :  
 70WCP Keep Alive Missed : 0CAT6504-MA#

10. 要約 : Cisco WiSM2 コントローラは、適切なスロットに挿入されて電源がオンになります  
 。基本設定はセットアップスクリプトを使用して実行します。基本設定が完了すると、  
 コンソール CLI または Cisco WiSM2 コントローラ Web インターフェイスから Cisco  
 WiSM2 コントローラを設定できます。セッション コマンドを使用するには、Cisco  
 WiSM2 のサービス ポートに静的または DHCP 割り当ての IP アドレスが割り当てられてい  
 ることを確認する必要があります。WLC を Cisco WiSM2 モジュールに個別に設定する必  
 要があります。最初に CLI から設定し、次に Web インターフェイスから設定します。

11. これで、ラップトップをイーサネットまたはワイヤレス接続して、GUI またはコンソール  
 セッションからコントローラ管理インターフェイスに接続し、設定を続行できます。



12. コントローラで利用可能なライセンスを確認します。ライセンス数がゼロの場合は、ライ  
 センス TAC サポート チームに連絡して、ライセンスを更新してください。

13. レイヤ 2/3 ネットワーク スイッチ経由で AP を WiSM2 に登録します。

14. ワイヤレス クライアントを LAP に接続して、トラフィックを外部サーバとその他のワイ  
 ヤレス クライアントに送信し、トラフィック ( ping ) がドロップなしに送信されることを  
 確認します。

15. これで、Sup 720 と WiSM2 基本設定が完了です。追加の設定変更は、他のワイヤレス コ



ントローラと同様、Web UI インターフェイスから可能です。この WiSM2 導入ガイドでは、ワイヤレスコントローラの設定の詳細については扱いません。

## WCS からの WiSM2 の設定

WiSM2 コントローラは、他のワイヤレスコントローラと同様、WCS から設定できます。WiSM2 コントローラを認識および設定するには、WCS バージョン 7.0.172.0 以上が WCS に必要です。

The screenshot shows the 'Add Controllers' configuration page in the Cisco Wireless Control System (WCS) interface. The 'General Parameters' section is highlighted with a red box, indicating the configuration for the controller. The 'IP Addresses' field is set to '172.16.0.27' and the 'Network Mask' is set to '255.255.255.0'. A blue callout box points to this section with the text 'Add WiSM-2 Controller in WCS'. Other sections include 'SNMP Parameters' and 'Telnet/SSH Parameters'.

次の図は、コントローラを挿入するスロットやコントローラを接続する内部ポートなど、WCS による WiSM および WiSM2 コントローラの管理について示しています。

注WiSM は常に 2 つのコントローラとして表示され、そのうちの 1 つが新しい WiSM2 です。

The screenshot shows the 'Controllers' page in the Cisco Wireless Control System (WCS) interface. The table below lists the controllers. Two rows are highlighted with red boxes: 'cntlwism1' and 'cntlwism2', both of type 'WiSM (Slot 4, Port 1)' and 'WiSM (Slot 4, Port 2)' respectively. A blue callout box points to the 'cntlwism1' row with the text 'WiSM', and another blue callout box points to the 'cntlwism2' row with the text 'WiSM-2'.

IP Address	Controller Name	Type	Location	Software Version	Mobility Group Name	Reachability Status	Audit Status
10.10.0.15	cntlambdr	7500		7.0.116.0	test	Reachable	Mismatch
10.10.0.19	cntl4402t1	4400		7.0.116.0	test	Reachable	Mismatch
10.10.0.21	cntl2106t1	WLC2100		7.0.114.113	test	Reachable	Mismatch
10.10.0.23	cntl5508t1	5500		7.0.116.0	test	Reachable	Mismatch
172.16.0.15	cntlwism1	WiSM (Slot 4, Port 1)		7.0.116.0	aire_mobility	Reachable	Mismatch
172.16.0.17	cntlwism2	WiSM (Slot 4, Port 2)		7.0.116.0	aire_mobility	Reachable	Mismatch
172.16.0.19	cntl4404_4	4400		7.0.116.0	aire_mobility	Reachable	Mismatch
172.16.0.21	cntl5508_1	5500		7.0.116.0	aire_mobility	Reachable	Mismatch
172.16.0.23	cntl5508_2	5500		7.0.116.0	aire_mobility	Reachable	Mismatch
172.16.0.25	cntl5508_5	5500	default	7.0.116.0	aire_mobility	Reachable	Mismatch
172.16.0.27	cntljan1	WiSM2 (Slot 5, Port 1)		7.0.116.0	aire_mobility	Reachable	Mismatch



、ポートチャネルの番号は大きな数になります。WiSM2 の EtherChannel は 689 ~ 746 です。

```
VSS#show wism switch 2 module 4 controller 1 status
WiSM Controller 1 in slot 36 configured with auto-lag
Operational Status of the Controller : Oper-up
Service VLAN :
8Service Port : 3Service Port Mac Address :
0022.bdd5.0141Service IP Address : 10.100.1.63Management IP Address :
: 10.170.1.10Software Version : 7.0.114.62Port Channel Number
: 727Allowed-vlan list : 100-120,122-140,142-260,262-340,348-450, 459,471-
480,499Native VLAN ID : 420WCP Keep Alive Missed : 0VSS#
```

Catalyst 65XX-E VS-S720-10G モジュールは、単一のシャーシ構成と同様に、定義が必要な内部サービス VLAN 経由で WiSM2 ボードと通信します。

```
VSS#show wism switch 2 module 4 controller 1 status
WiSM Controller 1 in slot 36 configured with auto-lag
Operational Status of the Controller : Oper-up
Service VLAN :
8Service Port : 3Service Port Mac Address :
0022.bdd5.0141Service IP Address : 10.100.1.63Management IP Address :
: 10.170.1.10Software Version : 7.0.114.62Port Channel Number
: 727Allowed-vlan list : 100-120,122-140,142-260,262-340,348-450, 459,471-
480,499Native VLAN ID : 420WCP Keep Alive Missed : 0VSS#
```

Catalyst 6500 の設定の例 :

```
VSS#show wism switch 2 module 4 controller 1 status
WiSM Controller 1 in slot 36 configured with auto-lag
Operational Status of the Controller : Oper-up
Service VLAN :
8Service Port : 3Service Port Mac Address :
0022.bdd5.0141Service IP Address : 10.100.1.63Management IP Address :
: 10.170.1.10Software Version : 7.0.114.62Port Channel Number
: 727Allowed-vlan list : 100-120,122-140,142-260,262-340,348-450, 459,471-
480,499Native VLAN ID : 420WCP Keep Alive Missed : 0VSS#
```

スーパーバイザの 720 の Cisco WiSM のサービスポートまたはスタンドアロン DHCP サーバに DHCP スコープを作成します。例 :

```
VSS#show wism switch 2 module 4 controller 1 status
WiSM Controller 1 in slot 36 configured with auto-lag
Operational Status of the Controller : Oper-up
Service VLAN :
8Service Port : 3Service Port Mac Address :
0022.bdd5.0141Service IP Address : 10.100.1.63Management IP Address :
: 10.170.1.10Software Version : 7.0.114.62Port Channel Number
: 727Allowed-vlan list : 100-120,122-140,142-260,262-340,348-450, 459,471-
480,499Native VLAN ID : 420WCP Keep Alive Missed : 0VSS#
```

次のコマンドを使用して、Cisco WiSM2 で設定されている VLAN がポートチャネルまたはギガビットインターフェイス経由で実行されるようにします。

**Cat-6K ( config ) # wism switch ( # ) module {#} controller 1 allowed-vlan {vlan range}**

**Cat-6K ( config ) # wism switch ( # ) module {#} controller 1 native-vlan {vlan id}**

**Cat-6K ( config ) # wism switch ( # ) module {#} controller 1 qos trust <dscp/cos/ip-precedence>** : インターフェイスをテストします。

**Cat-6K ( config ) # wism switch ( # ) module {#} controller 1 qos vlan-based** : Catalyst 6K で無線から有線トラフィックをポリシングするには、VLAN ベースの QoS を有効にしてください。

VSS モードでモジュールが適切に装着されていることを確認するには、次のコマンドを実行します。

```
show wism switch 2 module 4 controller 1 status
VSS#show wism switch 2 module 4 controller 1
status
WiSM Controller 1 in slot 36 configured with auto-lag
Operational Status of the Controller : Oper-up
Service VLAN : 8Service Port : 3Service
Port Mac Address : 0022.bdd5.0141Service IP Address :
```

```

10.100.1.63Management IP Address      : 10.170.1.10Software Version
: 7.0.114.62Port Channel Number      : 727Allowed-vlan list
100-120,122-140,142-260,262-340,348-450, 459,471-480,499Native VLAN ID
420WCP Keep Alive Missed             : 0VSS#show wism switch 2 module 4 controller 1
statusWiSm Controller 1 in slot 36 configured with auto-lagOperational Status of the Controller
: Oper-upService VLAN                : 8Service Port                : 3Service
Port Mac Address                    : 0022.bdd5.0141Service IP Address
10.100.1.63Management IP Address      : 10.170.1.10Software Version
: 7.0.114.62Port Channel Number      : 727Allowed-vlan list
100-120,122-140,142-260,262-340,348-450, 459,471-480,499Native VLAN ID
420WCP Keep Alive Missed             : 0VSS#show interfaces status switch 2 module 4Port
Name      Status      Vlan      Duplex  Speed TypeTe2/4/1      connected
trunk     full      10G 10GBase SvcTe2/4/2      notconnect  unassigned  full
10G 10GBase SvcGi2/4/3      connected    8          full  1000 1000Base
SvcGi2/4/4      disabled    1          full  1000 1000Base SvcVSS#VSS#

```

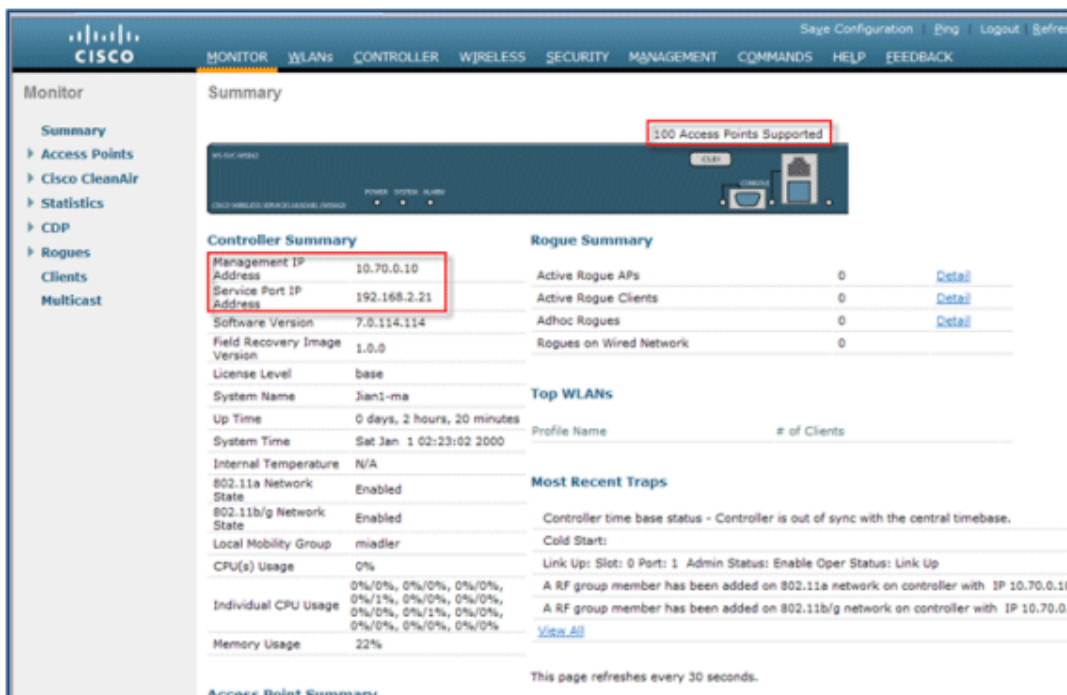
Cat6500#Show モジュール スイッチが。2つの VSS スイッチのモジュールを確認する order。

```

VSS#show module switch Switch Number: 1 Role: Virtual Switch Active-----
- -----Mod Ports Card Type                                     Model
Serial No.-----
6 Firewall Module WS-SVC-FWM-1 SAD0948020X 2 4 WiSM 2 WLAN
Service Module WS-SVC-WISM2-K9 SAL1421JDEF 3 6 Firewall Module
WS-SVC-FWM-1 SAD1404027Z 5 8 Intrusion Detection System WS-SVC-IDSM-2
SAD100304T6 6 4 WiSm 2 WLAN Service Module WS-SVC-WISM2-K9 SAL14481073 7
5 Supervisor Engine 720 10GE (Active) VS-S720-10G SAL13410X3Y 9 4 WiSM 2 WLAN
Service Module WS-SVC-WISM2-K9 SAL1421JENZ 10 48 CEF720 48 port 10/100/1000mb
Ethernet WS-X6748-GE-TX SAD114900Y3 11 16 CEF720 16 port 10GE WS-
X6716-10GE SAD112908Z2 12 4 CEF720 4 port 10-Gigabit Ethernet WS-X6704-10GE
SAL09444NPS Switch Number: 2 Role: Virtual Switch Standby-----
-----Mod Ports Card Type                                     Model
Serial No.-----
4 WiSm 2 WLAN Service Module WS-SVC-WISM2-K9 SAL1421JDFJ 3 8 Intrusion
Detection System WS-SVC-IDSM-2 SAD103103TH 4 4 WiSM 2 WLAN Service Module
WS-SVC-WISM2-K9 SAL1412DAKJ 5 8 Intrusion Detection System WS-SVC-IDSM-2
SAD094902UX 6 6 Firewall Module WS-SVC-FWM-1 SAD10450180 8
5 Supervisor Engine 720 10GE (Hot) VS-S720-10G SAL1332VP1Q 11 48 CEF720 48 port
10/100/1000mb Ethernet WS-X6748-GE-TX SAL09433SP8 13 16 CEF720 16 port 10GE
WS-X6716-10GE SAD112504YY

```

これで、ラップトップをイーサネットまたはワイヤレス接続して、GUI またはコンソール セッションからコントローラ管理インターフェイスに接続し、設定を続行できます。



コントローラで利用可能なライセンスを確認します。ライセンス数がゼロの場合は、ライセンス TAC サポート チームに連絡して、ライセンスを更新してください。

レイヤ 2/3 ネットワーク スイッチ経由で AP を WiSM2 に登録します。

ワイヤレス クライアントを LAP に接続して、トラフィックを外部サーバとその他のワイヤレス クライアントに送信し、トラフィック ( ping ) がドロップなしに送信されることを確認します。

これで、Sup 720 と WiSM2 基本設定が完了です。追加の設定変更は、他のワイヤレス コントローラと同様、Web UI インターフェイスから可能です。この WiSM2 導入ガイドでは、ワイヤレス コントローラの設定の詳細については扱いません。

これで、Catalyst VSS 設定での WiSM2 モジュールの VSS の取り付けも完了です。追加の設定変更は、他のワイヤレス コントローラと同様、Web UI インターフェイスから可能です。この WiSM2 導入ガイドでは、ワイヤレス コントローラの設定の詳細については扱いません。

## 付録 A : スイッチと WiSM2 に関する基本用語

用語	
AP	アクセス ポイント
APM	AP マネージャ インターフェイス
DEC	Distributed EtherChannel ( 分散 EtherChannel )
DFC	Distributed Forwarding Card
DynInt	動的インターフェイス
FWSM	Firewall Service Module ( ファイアウォール サービス モジュール )
IDSM	Intrusion Detection Service Module ( 侵入検知サービス モジュール )
ISSU	インサービス ソフトウェア アップグレード
LAG	リンク集約
MEC	マルチシャーシ EtherChannel
管理	管理インターフェイス
NAM	Network Analysis Module; ネットワーク解析モジュール
OIR	Online Inserted and Removal ( オンライン挿入と削除 )
port	物理 Gbps ポート
RSPAN	リモート SPAN
SPAN	Switch Port Analyzer ( スイッチド ポート アナライザ )
SSO	Stateful Switchover
STP	スパニング ツリー プロトコル
VACL	VLAN Access Control List ( VLAN アクセス コントロール リスト )

<b>VLAN</b>	Virtual LAN ( 仮想 LAN )
<b>VSL</b>	仮想スイッチ リンク
<b>VSS</b>	Virtual Switch System
<b>WCP</b>	Wireless Control Protocol ( ワイヤレス コントロール プロトコル )
<b>WCS</b>	Wireless Control System
<b>WiSM</b>	ワイヤレス サービス モジュール

## 付録 B : Catalyst 6504 の実行コンフィギュレーションの例

```

CAT6504-MA#sh runBuilding configuration...Current configuration : 4804 bytes! ! Last
configuration change at 20:34:02 UTC Tue Apr 12 2011 !version 12.2service timestamps debug
uptimeservice timestamps log uptime
no service password-encryption
service counters max age
10!hostname CAT6504-MA!boot-start-markerboot system flash s72033-adventerprisek9_wan_dbg-
mz.SIERRA_INTEG_100903boot-end-marker!no logging console!no aaa new-model!ip dhcp excluded-
address 192.168.1.1 192.168.1.10ip dhcp excluded-address 192.168.2.1 192.168.2.20ip dhcp
excluded-address 192.168.0.1 192.168.0.20!ip dhcp pool wism-service-port network 192.168.2.0
255.255.255.0 default-router 192.168.2.1!no mls acl tcam share-globalmls netflow interface
mls
cef error action freeze!spanning-tree mode pvstno spanning-tree optimize bpdu
transmissionspanning-tree extend system-idwism service-vlan 22wism module 3 controller 1
allowed-vlan 30-100wism module 3 controller 1 native-vlan 70wism module 3 controller 1 qos vlan-
baseddiagnostic bootup level minimalport-channel per-module load-balance!redundancy main-cpu
auto-sync running-config mode sso!vlan internal allocation policy ascendingvlan access-log
ratelimit 2000!interface Port-channel3 switchport switchport trunk encapsulation dot1q
switchport trunk native vlan 70 switchport mode trunk mls qos trust dscp!interface
GigabitEthernet1/1 --More--switchport mode trunk mls qos trust dscp!interface GigabitEthernet1/1
switchport switchport trunk encapsulation dot1q switchport trunk native vlan 10 switchport mode
trunk!interface GigabitEthernet1/2 no ip address!Truncated ?..interface Vlan22 description
communication VLAN between Sup720 and WiSM-2 ip address 192.168.2.1 255.255.254.0!interface
Vlan70 ip address 10.70.0.5 255.255.255.0!ip classlessip forward-protocol nd!no ip http
server!control-plane!dial-peer cor custom!line con 0line vty 0 4 loginline vty 5 15
login!endCAT6504-MA#

```

## 関連情報

- [Cisco Catalyst 6500 シリーズ/7600 シリーズ ワイヤレス サービス モジュール \( WiSM \)](#)
- [Cisco Wireless LAN Controller と Lightweight アクセス ポイント リリース 7.0.116.0 のリリース ノート](#)
- [Cisco Catalyst 6500 シリーズ スイッチ用 Cisco Wireless Services Module 2 コントローラ](#)
- [Cisco 4400 シリーズ ワイヤレス LAN コントローラ](#)
- [Cisco 2000 シリーズ ワイヤレス LAN コントローラ](#)
- [Cisco Wireless Control System](#)
- [Cisco 3300 シリーズ モビリティ サービス エンジン](#)
- [Cisco Aironet 3500 シリーズ](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)